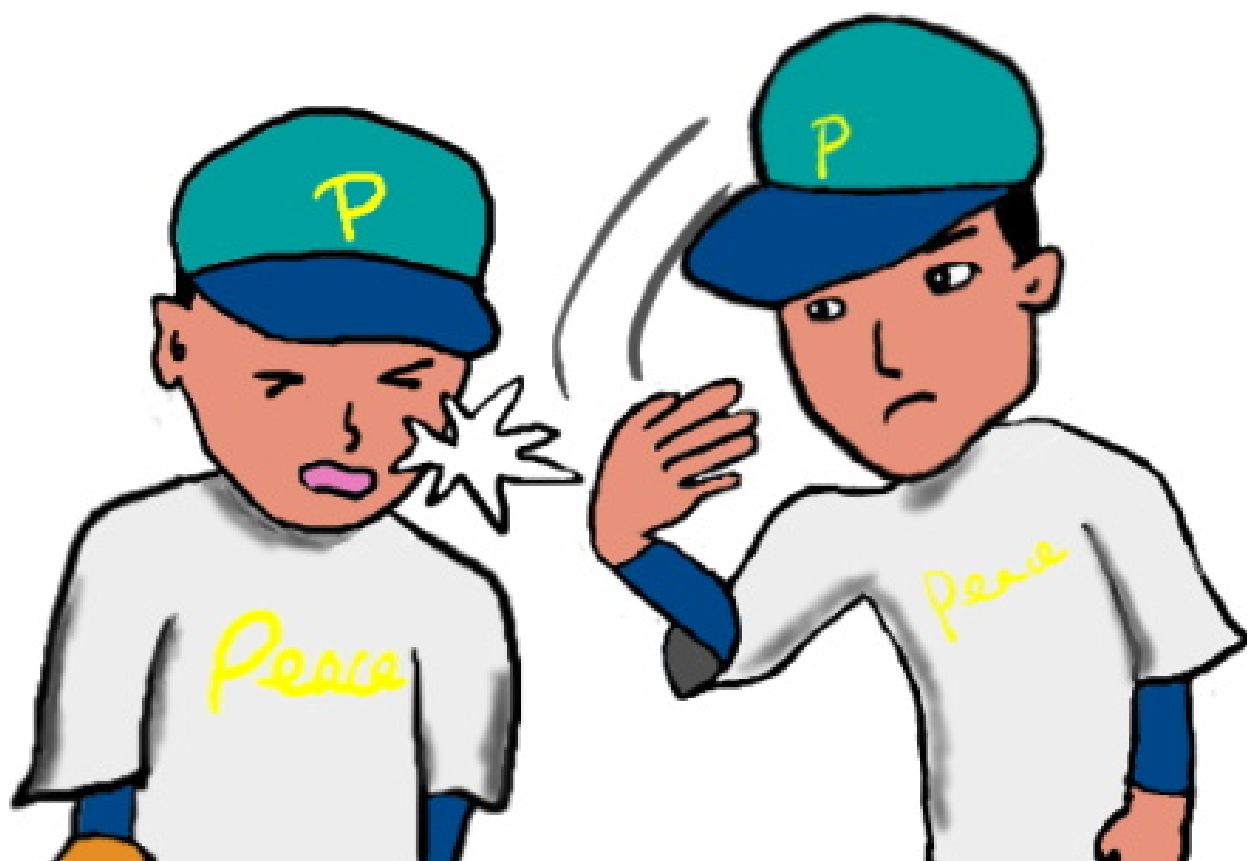


攻擊命令、

無制限！



東郷 潤

野球部の監督がキャプテンに命令をしました。

おい、キャプテン。あいつに、
ビンタを一発くれてやれ

はい、監督




キャプテンは仲間の頬を1回、ビンタしました。

監督からだよ



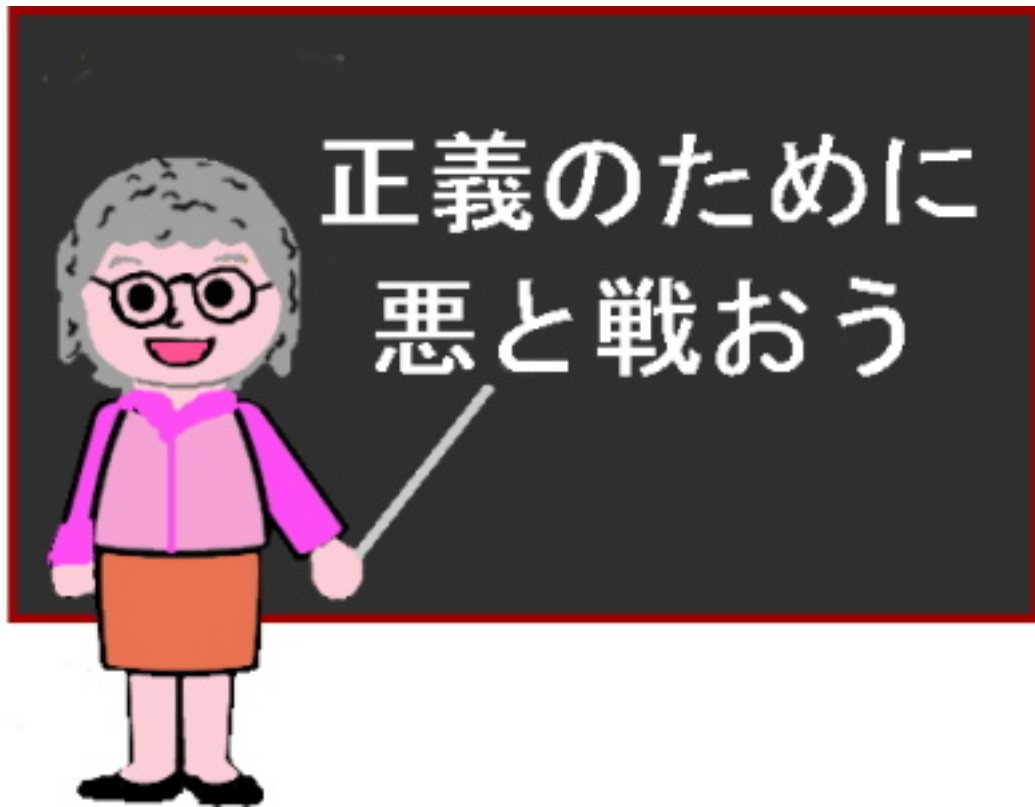
もちろん、怪我をさせるほど強くではありません。気合を入れることが目的ですから。ⁱ

—話は変わって、あるところに嫌な奴
を誰かに殴ってもらおうと、いろいろ
な人に向かって、繰り返しささやいて
いる少年がいます。

ねえ、知っている？
内緒の話なんだけどね、
あいつ本当は、
すごく悪い奴なんだって



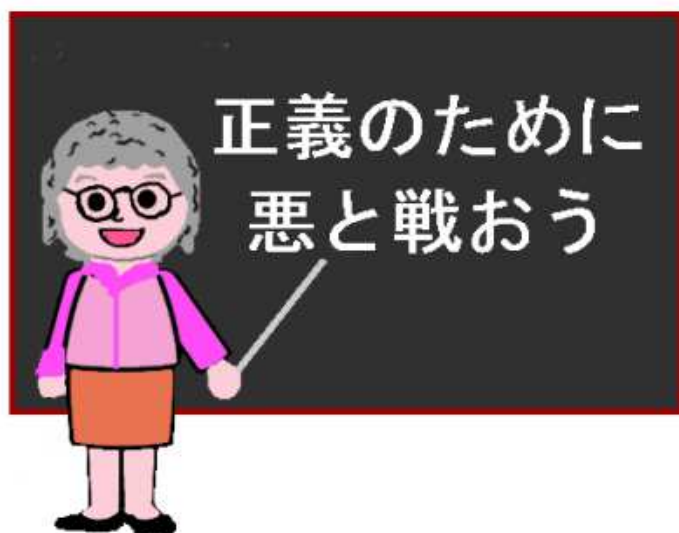
もちろん僕たちは皆、子供の頃から、
ずっとこう教えられています。



「あいつは、悪い奴」ということは、
つまり「悪のあいつと戦おう」という
攻撃命令が下された、…そう思う人も
中にはいるかも知れません。

それではここで、黒板の先生と、最初の監督の攻撃命令を比べてみましょう。

おい、キャプテン。
あいつに、ビンタを
一発くれてやれ



正義のために
悪と戦おう

では、二人が命令した、攻撃方法は何
でしょう？

ビンタだよ



え？
何かしら？



では誰に攻撃しろって、命令したのでしょうか？

キャプテンだよ



え？
誰かしら？



では攻撃回数は何回でしょう？

1回だよ



え？
何回かしら？



いつ、誰が、どうやって、何回、攻撃するか、黒板の先生は、監督のように具体的な命令をしていませんね。

さて、ある日、彼を悪い奴だと信じた人たちが、彼を殴りつけました。



やったぜ!



そして、彼を蹴りつけました。

この悪党め！



そして、彼を棒で叩きました。

この悪党め！



お分かりでしょうか？ 誰かを「悪だ」というのは、その人に対する具体的な、つまりは限定的な攻撃命令ではありません。

ですから、



これは、無制限の攻撃命令

…そんな風に、錯覚されることも、時には、あるかもしれません。

こうして人類は、時に異常なまでに残酷化するのではないのでしょうか。



あとがき —絵本「攻撃命令、無制限！」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011

i [注] 筆者はスポーツ教育における体罰の善悪について一切、主張するものではない。しかしなが、読者の中にはビンタの目的がそもそも分からないという方もいらっしゃるかと思うので、絵本中の監督の意図を以下、ご説明したい。

あなたが疲れて眠いとき、ビンタされれば、その衝撃でアドレナリンが血中に放出され、眠気がなくなり集中力が高まるかも知れない。高い集中力はスポーツ技術の向上にも怪我の防止にも重要だ。

しかしながら一方で、ビンタに関する、こうした「合意」が存在しない社会・人々にとっては、ビンタは不正な攻撃で野蛮な行為になるかも知れない。

繰り返すが、以上は絵本に登場する監督の考え方であり、筆者は体罰の善悪について、ここで一切主張するものではない。